

ホメピゾール Fomepizole

●ホメピゾール(武田)

点滴静注：1.5mL(原液1.5g).

浸透圧比1.6

[特]肝臓アルコールデヒドロゲナーゼ

によるエチレングリコール又は

メタノールの代謝を阻害→

有害代謝物の生成抑制→中毒症状改善.

[効]エチレングリコール中毒,

メタノール中毒

[用] 原液のため,

必ず100mL以上の生食又は5%糖液で

1~15mg/mLに溶解・希釈する.

(固化時は,体温で温める.融点21°C)

a.初回15mg/kgを30分以上かけ点静,

12時間ごとに

2~5回目は10mg/kg,

6回目以降は15mg/kg,

b.血液透析と併用時:

・透析開始時:

前回投与から

6時間以内→透析前は投与しない.

6時間以上→透析開始直前に投与.

・透析中:透析開始から4時間毎に

・透析終了時:前回投与から,

1時間未満

→透析終了時には投与しない.

1~3時間以内→通常量の1/2量を

透析終了直後に投与.

3時間超経過→透析終了直後に投与.

・透析終了後:

前回投与から,12時間毎に投与.

[体内動態]a.CYP2D6,CYP2E1を阻害.

b.尿中排泄率は2%.

[注] 1.重篤な代謝性アシドーシス,腎不全

があれば→血液透析をする.

2.重症エチレングリコール中毒で

多臓器不全,播種性血管内凝固症候

群,無尿の報告(海外).

[患] 妊婦へは有益性,危険性を判断.

[併] B.慎:エタノール:

エタノール及び本剤の血中濃度上昇

(消失速度が夫々40%,50%低下.

[副] 40%**D** ●頭痛6%,痙攣発作,激越,

回転性めまい,傾眠,不安,眼振,異常感,

腹痛,嘔吐,消化不良,リンパ管炎,静脈

炎,徐脈,頻脈,循環虚脱,低血圧,好酸球

増加症,貧血,発熱,発疹,腰痛,しゃっくり,

咽頭炎,霧視,ASTの上昇.

●注射部位(灼熱感,疼痛,炎症)6%,

[保管時]24時間以内に使用.